

ほんものにつながる情報教育 ～高大連携から地域貢献へ～

茨城県立鉾田第一高等学校
津賀宗充

本日の内容

- 昨年度の取り組みからの報告
 - 概要
 - 効果 …… 生徒の変化
 - 成果 …… 地域への影響
 - 活動の様子
 - 課題
- 今年度の取り組みの報告

プロジェクトの概要

- サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト
 - 「高校生の視座から考える茨城のまちづくり」
- 筑波大学社会工学類都市計画専攻と連携
 - 大学教員、大学院生の協力
- 本校生徒31名参加
 - 2学年 21名(男子12名、女子9名)
 - 1年次 10名(男子8名、女子2名)

効果 …… 生徒の変化

- ICT活用を実感
 - 多様なICT機器の活用
 - デジタルカメラ、GPS、ICレコーダー
 - データ処理
 - GIS(地理情報システム)、表計算ソフトウェア
 - プレゼンテーション
- 問題解決型学習

成果 …… 地域への影響

- 公開発表会
 - 参加者60名以上
 - 生徒の提案が実現へ
- まちづくり全国協議会への参加
- 地域へのPR
 - 新聞(茨城、朝日、常陽、東京、筑波大学etc)
 - テレビ(NHK)

スケジュール2007

7月26日	まちあるき 鉾田 まちづくりワークショップ	プレゼンテーション①	鉾田
8月7日	講義 都市計画・まちづくり概論 演習 人口・産業などの将来予測 演習 航空写真で見る地域の発展 演習 フィールド調査に基づくデジタル地図づくり		つくば合宿 (2泊3日)
8月8日	まちあるき つくば(筑波鉄道廃線, 学園都市地域等)		
8月9日	防災とまちづくり テーマ発表会	プレゼンテーション②	
8月24日	グループ作業		鉾田 (2日)
8月25日	鉾田の将来とまちづくり 中間発表会	プレゼンテーション③	
10月30日	最終発表会	プレゼンテーション④	鉾田

まちあるき・演習・グループ作業

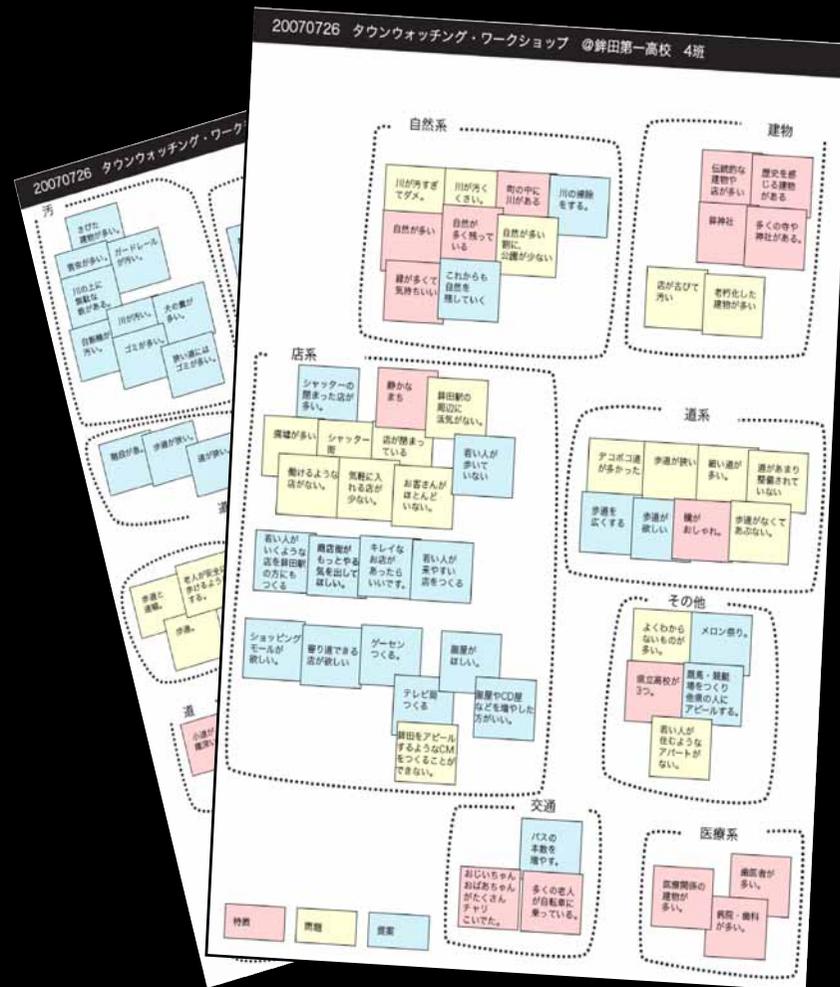


プレゼンテーション①



ワークショップ

KJ法を使って地域の抱える課題を整理



プレゼンテーション②



テーマ発表

自分たちが提案するテーマを決定

ホコタで+togetherしようぜ... いいとも

現在の銚田の活性化の上での問題として、人口過疎や他交通の不便等の問題を抱えており、その中で商店街を活性化させるには、郊外の土地利用の有効な方法はいくつかある。しかし、計画案の思考をより広げ、まちづくりの連続が必要と考える。商店街において、潤滑として合っている場所がある。情報の発信を促す。郊外においては土地の有効な利用の方法を提案する。

郊外には大きな土地がある。
↓
ならす

その土地を

- ・娯楽施設(パルクセンター)
- ・ショッピングセンター
- ・住宅 により、人を集める。

しかし...

ふくね田んぼは土地をならしても建物を建てられない。

そこで、
ふくね田んぼを掘りおし溜池にして、昔の水煙を一本馬車道にする。

高店街の問題
として上がったのは、

- ・道が狭い馬車道が少ない
- ・客が少ない

それに対して、上がった解決策としては

- ・客の対象を歩行者中心にする。(ex. 学生、老人)
- ・商店街に学生が一体となったPR活動(ex. 看板、押し印を紹介したい)
- ・通学路周辺の整備 (学生の意見を利した店作り)

まとめ
2つの地域の提案から銚田を中と外からの視点で活性化をはかる。
中間発表に向けて、2つの視点から調査をする。

鈴木雄也・増淵勝也
伊東諒・藤村貴之
大川萬里・鈴木智美

プレゼンテーション③



中間発表

自分たちの提案の方向性を報告

歩行者の安全のために...



- 中心部を一方通行に...
- 循環するように.....

混乱しないように

銚田市の概要

■ 農業が中心

- 農業生産額 524億9000万円
(工業生産額 48億8581万円)

平成18年度 特別工業生産額 全国第1位

■ 特産物⇒メロン

- メロン産出額
銚田は全国1位 (夕張市の4倍)
- ☆ 野菜全般が第1位

食の彩都BARAKI <http://www.ibaraki-shokusai.net/index.html>より



プレゼンテーション④



公開発表会

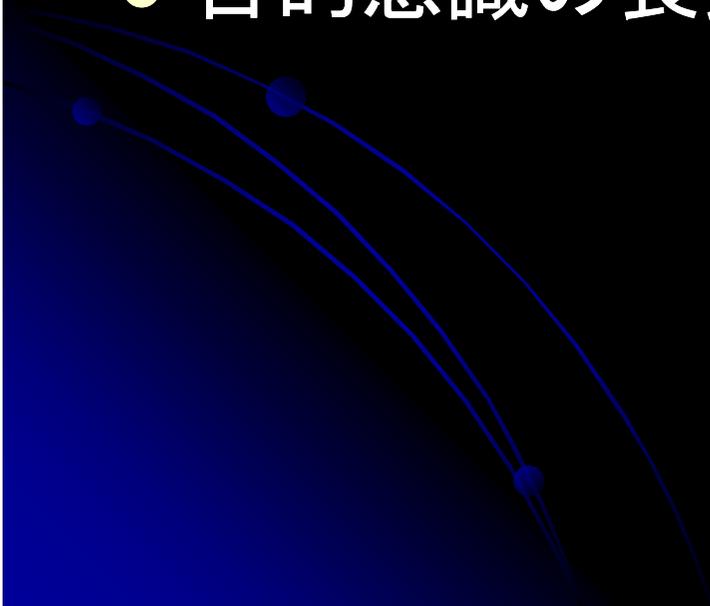


参加者

鉾田市、商工会、地域のNPO
同窓会、後援会、父兄、友人
茨城県教育委員会、近隣の高校教員

昨年度の取り組みの課題

- グループによる取り組み状況の差
 - 異学年混在の弊害
 - 生徒間のコミュニケーション
- 目的意識の喪失



今年度の取り組み

- サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト
 - 「高校生がつくる茨城まちづくりプラン2008」
- 県内4県立学校（普通科、造園科）
 - 各校6名
 - 2学年 19名（男子15名、女子4名）
 - 1学年 5名（男子5名）
- 予算の削減（300万円→200万円）

スケジュール2008

7月下旬	まちあるき まちづくりワークショップ	形態①	各高校
8月4日	演習 人口・産業などの将来予測 演習 航空写真で見る地域の発展 演習 フィールド調査に基づくデジタル地図づくり	形態②	つくば合宿 (1泊2日)
8月5日	テーマ発表会		
8月中旬	グループ作業	形態③	各高校
8月24日	まちあるき つくば(学園都市地域等)	形態④	つくば合宿 (1泊2日)
8月25日	講義 防災とまちづくり 最終発表会		
9月上旬	公開発表会		各高校

プロジェクトの工夫

- 目的意識の喪失
 - 学習集団に変化をつける
 - 個々の役割の明確化
 - 異学年混在によるデメリットの低下
 - TA(大学院生)による議論の方向性の誘導
 - 自由に議論する時間が不足
 - テーマの掘り下げが不十分
- 校内でのコミュニケーションができない
 - 電子メール、携帯電話、テレビ会議の活用

まちあるき(形態①)

	テーマ1	テーマ2	テーマ3			
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

合宿前の調査活動

	テーマ1	テーマ2	テーマ3
太田 第一	A B	C D	E F
水戸 第一	G H	I J	K L
石岡 第一	M N	O P	Q R
鉾田 第一	S T	U V	W X

講義

	テーマ1	テーマ2	テーマ3			
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

演習・ワークショップ(形態②)

	テーマ1		テーマ2		テーマ3	
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

グループ作業(形態③)

	テーマ1	テーマ2	テーマ3
太田 第一	A B	C D	E F
水戸 第一	G H	I J	K L
石岡 第一	M N	O P	Q R
鉾田 第一	S T	U V	W X

ワークショップ（形態④）

	テーマ1		テーマ2		テーマ3	
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

茨城まちづくりプラン2008

	テーマ1	テーマ2	テーマ3			
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

情報科との関連

- 学習ツールとしてのICT機器
 - 参加31名中11名が感想に述べる

- 問題解決型学習



- 学習形態の工夫
 - 競争する集団→協働する集団

「まちづくりは人づくりである」

鬼沢保平鉾田市長

情報手段の活用力

提言内容の具体性

地域への影響力